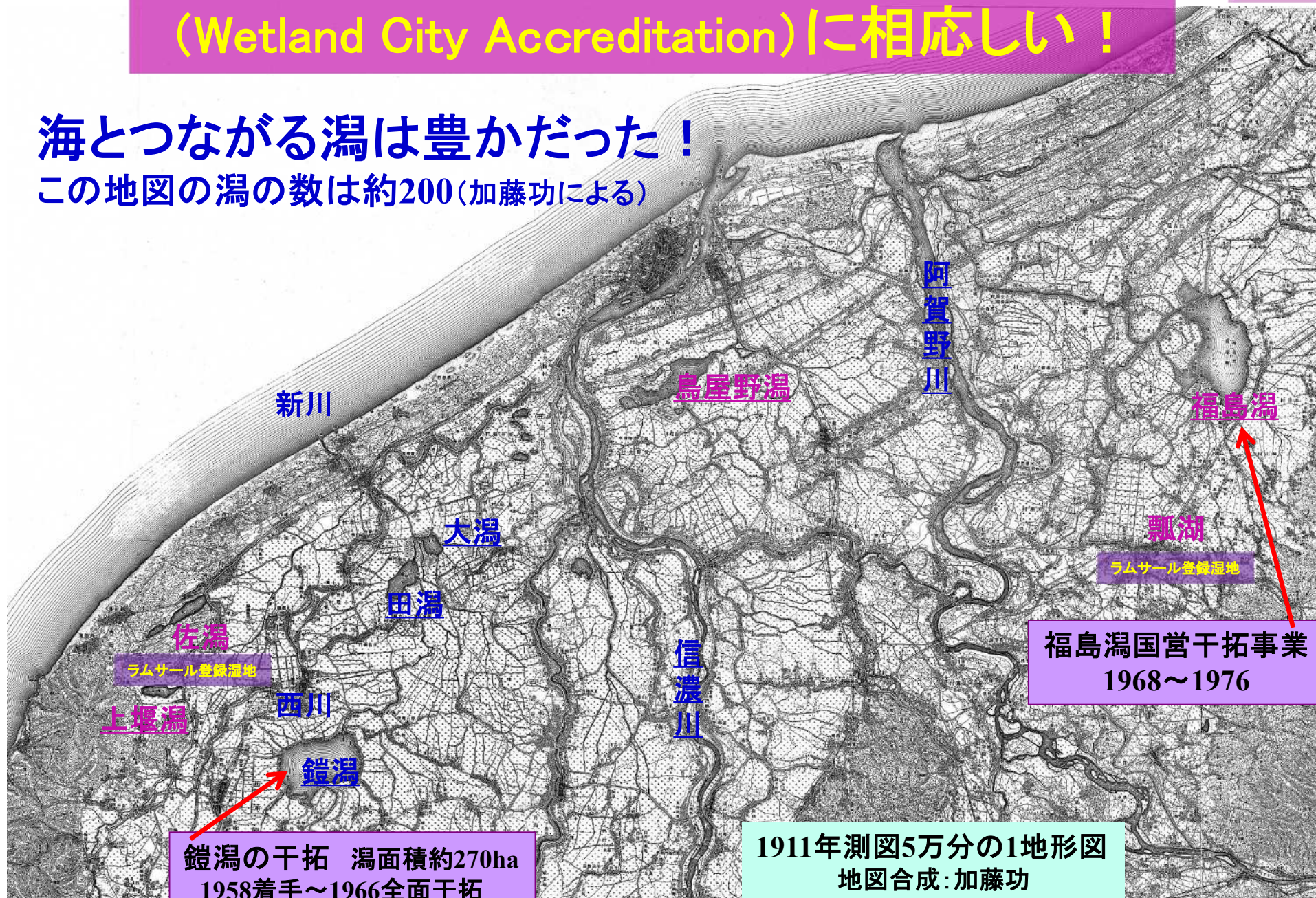


# 新潟市はラムサール条約湿地都市認証 (Wetland City Accreditation)に相応しい！

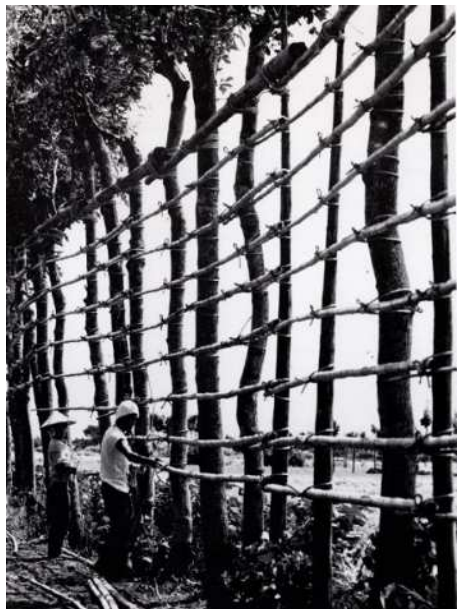
大熊

## 海とつながる潟は豊かだった！

この地図の潟の数は約200(加藤功による)







## かつての越後平野はハザ木の森でもあった！

出典：古俣近建著『ありし日の鎧潟』1989年 旭光社印刷所  
左・138頁、139頁、下・142頁



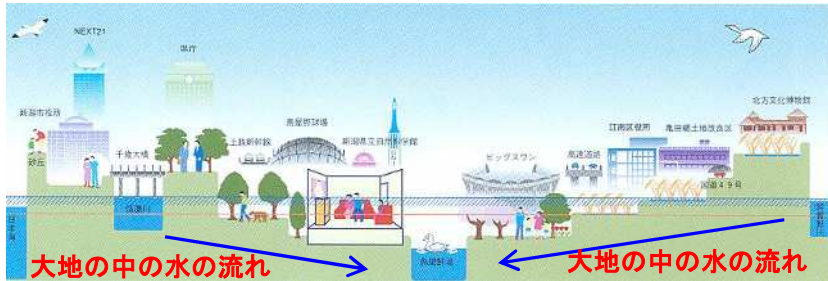
撮影：大熊孝20221006

←ハザ木が消滅した越後平野



# 越後平野の放水路と潟の干拓概略図

現在の河口は20  
残された潟は16



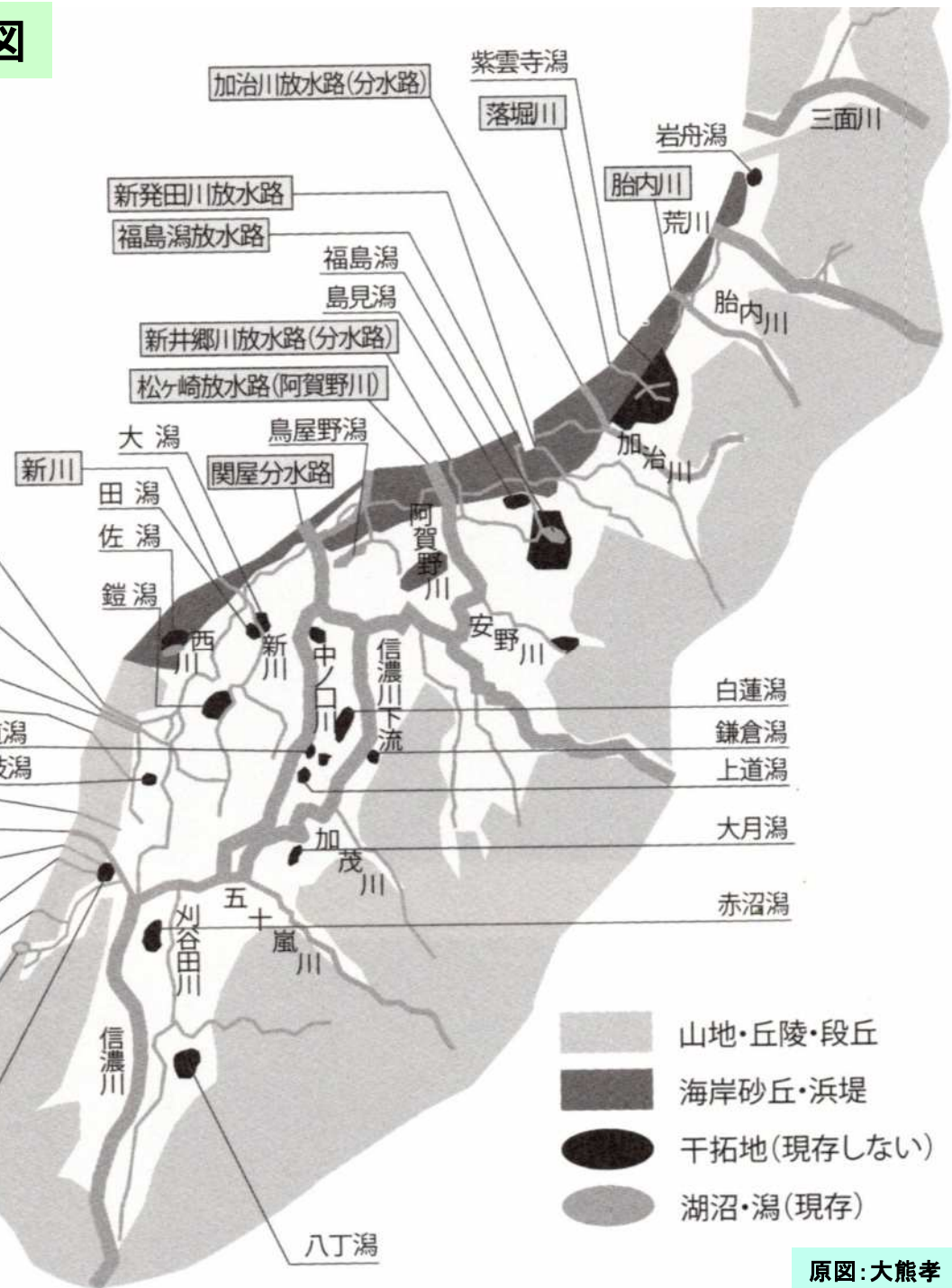
放水路に加えて強力な  
ポンプ群で大地の下に  
水の流れをつくった。



大河津分水 1922年通水  
出典:NAGAOKA INNOVATION CALENDAR'21

※ 東部組合悪水路は崩壊して存在せず。  
最後の放水路: 矢川放水路2006・8・4 竣工式

- 樋曾山隧道
- 新々樋曾山隧道 (大通川放水路)
- 新樋曾山隧道
- 矢川放水路
- 下道潟
- 楊枝潟
- 国上隧道
- 大河津分水路
- 円上寺隧道
- ※ 東部組合悪水路
- 郷本川
- 落水悪水路
- 円上寺潟







# 潟MAP

新潟市潟環境研究所製作/2014年

湿地は水田・市街地に干拓された。残された潟は16潟！

新潟市には、自然の恵みを受けながら、歴史と文化が息づく16の潟があります。このマップで、それぞれの潟の魅力を発見しましょう。

古くから越後平野の潮溜は、その盛り立ちなどにかかわらず、総称して「潟」と呼ばれてきました。潟は多くの動植物が生息・生育し、憩いや活動の場として「ふるさと」を象徴する存在です。

- |   |  |  |  |   |  |  |   |
|---|--|--|--|---|--|--|---|
| <br><b>福島潟 (ふくしまがた)</b><br>面積約252ha 水田面積 0.7ha<br>所在地 新潟市 東区 福島 | <br><b>内沼潟 (うちぬまがた)</b><br>面積約11.5ha 水田面積 0.8ha<br>所在地 新潟市 東区 内沼 | <br><b>十二潟 (じゅうにがた)</b><br>面積約5.4ha 水田面積 1.6ha<br>所在地 新潟市 東区 十二潟 | <br><b>松浜の池/ひょうたん池</b><br>面積約2.2ha 水田面積 0.3ha<br>所在地 新潟市 東区 松浜 | <br><b>川んぼい池 (かわんぼい池)</b><br>面積約0.3ha 水田面積 0.2ha<br>所在地 新潟市 東区 川んぼい | <br><b>島原野潟 (しまはらのがた)</b><br>面積約150ha 水田面積 2.5ha<br>所在地 新潟市 東区 島原野 | <br><b>清五郎潟 (せいごろうがた)</b><br>面積約2.0ha 水田面積 2.5ha<br>所在地 新潟市 東区 清五郎 | <br><b>北山池 (きたやまの池)</b><br>面積約1.1ha 水田面積 0.4ha<br>所在地 新潟市 東区 北山 |
|---|--|--|--|---|--|--|---|

# 自然のオーラの消えた越後平野！

「潟」で見る・楽しむ [新潟のデジタル博物館](http://www.niigata-sapokata.com/) URL: <http://www.niigata-sapokata.com/>



除草剤で生物もいない！



撮影：大能孝



# 風前の灯火であった新潟の自然

堀は国体開催(1964年)を契機にすべて埋められた。

鳥屋野潟も高度経済成長期全面干拓の危機にあった。

(今の水面標高は-2.5m)

大河津分水通水(1922年)後海岸侵食が激化した。

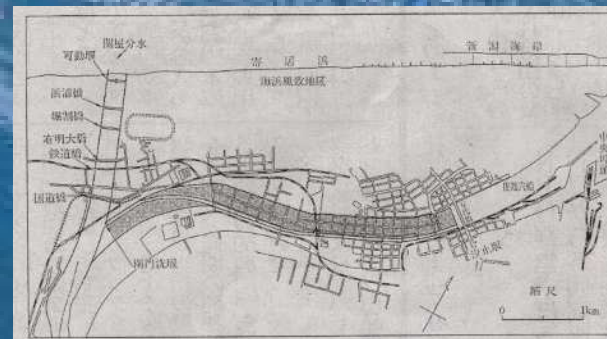
信濃川の川幅は広がった!



出典:新潟日報 2022・8・22

関屋分水(1972年完成)もとは信濃川を埋め立てる計画だった。

信濃川関屋分水事業計画平面図(新潟県、1963年)  
提供:信濃川下流河川事務所  
出典:新潟日報2022年8月10日





# 潟からはじまった「自然と都市の共生」!

佐潟(さかた)

1996年ラムサール登録湿地(全国10番目)  
越後平野で唯一昔のまま残された“潟”??

角田山(標高481.7m)



佐潟水鳥・湿地センター

赤塚中学校

潟面積:約76ha、水面標高:TP. 約+4.5m



撮影:佐藤安男



撮影:田村杏奈 2022年11月

Wise Use—ハス田でのハス採り—

湿生植物としてオニバス、ミズアオイ、サデクサなど貴重なものが生育している。



# 福島潟

## 福島潟全体平面図

S=1/12500

**掘削**  
洪水を一時的に貯える遊水池として新しく潟を拡大、創出します。

潟全面積:約520ha  
水面標高:TP約-0.7m  
水面積 :約262ha  
干拓地面積:約196ha  
承水路面積:約27ha  
堤防敷地 :約28ha

- ・干拓計画が減反政策のなかで中断し、洪水調節池として潟が残された！
- ・約80haの水田を買収して、潟に戻した！
- ・福島潟の生物に配慮した環境保全対策の推進

約80haの水田を潟に戻した！

**沈砂地の設置**  
流入土砂を捕捉し潟内の陸化を軽減します。

ビュー福島潟  
放水貯石庫

潟来亭

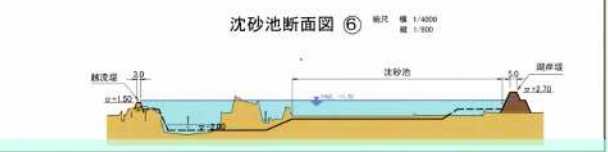
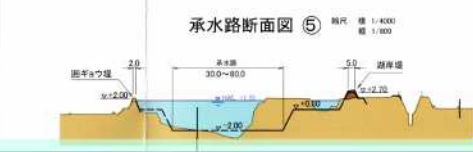
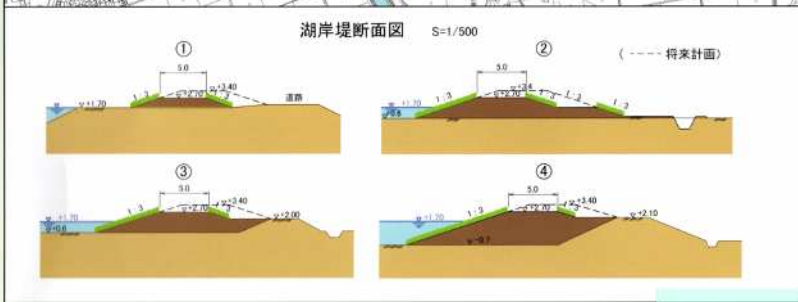
福島潟水門

**福島潟水門**  
洪水を福島潟放水路へスムーズに流下させます。

湖岸堤の嵩上げ  
潟外への浸水を防止します。



- 凡例
- 湖岸堤整備
  - 湖岸堤嵩上げ
  - 支川河川堤防整備
  - 越流堤嵩上げ(国営事業)
  - 囲ぎょウ堤嵩上げ(国営事業)
  - 既設ポンプ
  - 河川改修予定
  - 河川区域
  - 鳥獣保護区域





ビュー福島潟・1997年完成  
建築家・青木淳(1956～)  
建築学会賞受賞・1999年

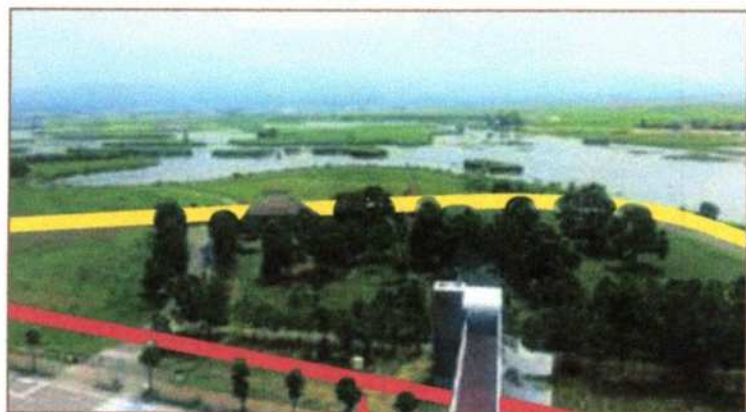


撮影・佐藤正兵



2017年雁迎灯／デザイン・小林未桜(葛塚中学校3年)／撮影:大熊孝

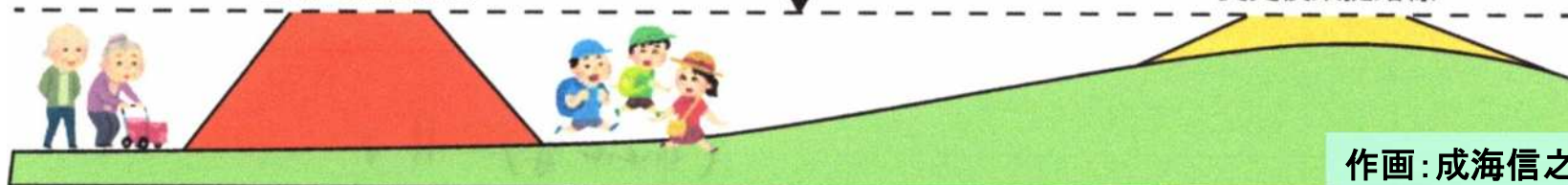
治水機能を確保しながら、人と自然の  
関係性を遮断しない堤防づくりが行われた。  
土木学会景観デザイン賞奨励賞2016受賞



当初の築堤計画

新堤防高さ

変更後築堤路線



作画:成海信之



# 上堰瀉(うわぜきかた)

干拓が中断され、洪水調節池を兼ねて復元された人造湖

公園面積26.3ha、水面積11ha、水面標高:TP. 約+3.5m



昔の瀉水面標高は約6mで、瀉の中に水田があった。



水位3.52m

撮影:大熊孝



上堰瀉公園造成 2001年

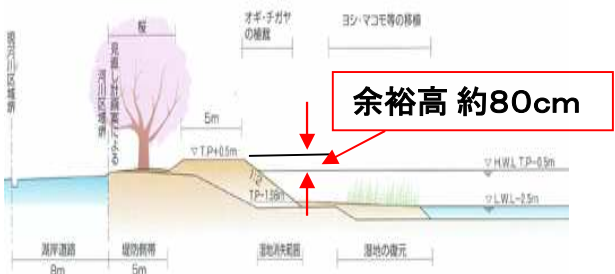
撮影:石山与五栄門

出典:斎藤文夫編著「蒲原昭和の記録」



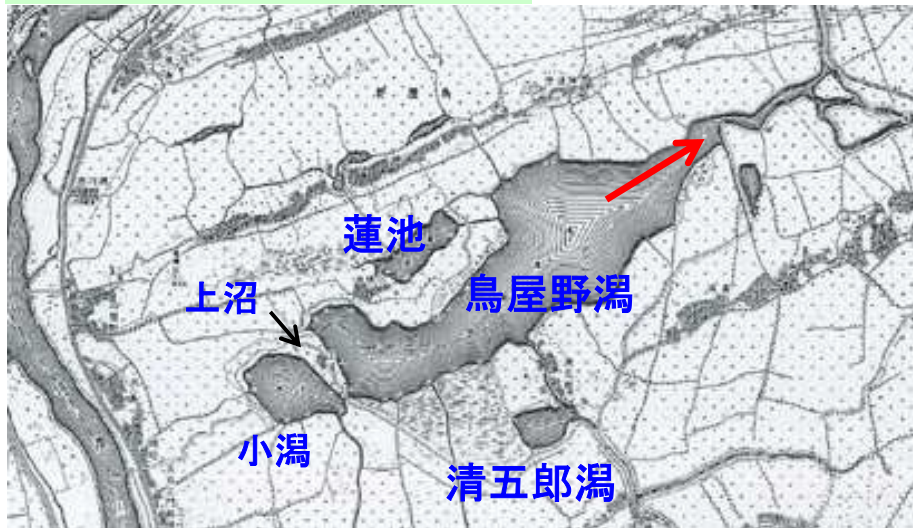
# 鳥屋野潟

流域面積: 99.8km<sup>2</sup>  
 総面積 : 約190ha  
 水面積 : 約160ha  
 水面標高: TP. 約-2.5m  
 洪水調節容量 約350万m<sup>3</sup>  
 (余裕高含めれば約500万m<sup>3</sup>)



鳥屋野潟は洪水調節池として残された。

## 1935年頃の鳥屋野潟



## 鳥屋野潟の堤防整備計画



## 現在の鳥屋野潟 (新潟県パンフレットより)





# 鳥屋野潟での水辺に親しむ活動



浮島がってん丸帆走航海



投網 投げ手・増井勝弘漁協組合長



鳥屋野潟は歩ける！



提供：NPO新潟水辺の会



空心菜の栽培



# 新潟には“魂が還りたがる風景”がたくさん残されている！

佐潟(さかた)



撮影: 佐藤安男

福島潟



撮影: 大熊孝

鳥屋野潟



撮影: 大熊孝

上堰潟



撮影: 王毅

- ・佐潟はラムサール条約湿地に登録された。
- ・福島潟は、干拓を途中で放棄し、湿地を残した。
- ・上堰潟は、干拓を途中で放棄し、公園化され、潟が復元された。
- ・鳥屋野潟は、干拓を放棄し、水面標高を下げて遊水池として残した。



# 「地域の自然」をトータルに認識しよう！

感性を 潟に入って、磨こう！

知性を 『みんなの潟学』で、磨こう！

鳥屋野潟

車いすカヌー

福島潟



撮影：大熊孝

それぞれの潟ガイドブック



新潟市潟環境研究所編  
2018年11月7日発行  
無料配布

新潟市里潟研究ネットアーク会議  
2020年、2021年、2022年発行



## Wetland City Accreditation

### ラムサール条約湿地自治体認証制度

湿地の保全・再生、普及啓発、環境教育等の推進に関する国際基準(12項目)に該当する自治体に対する認証(6年更新)。

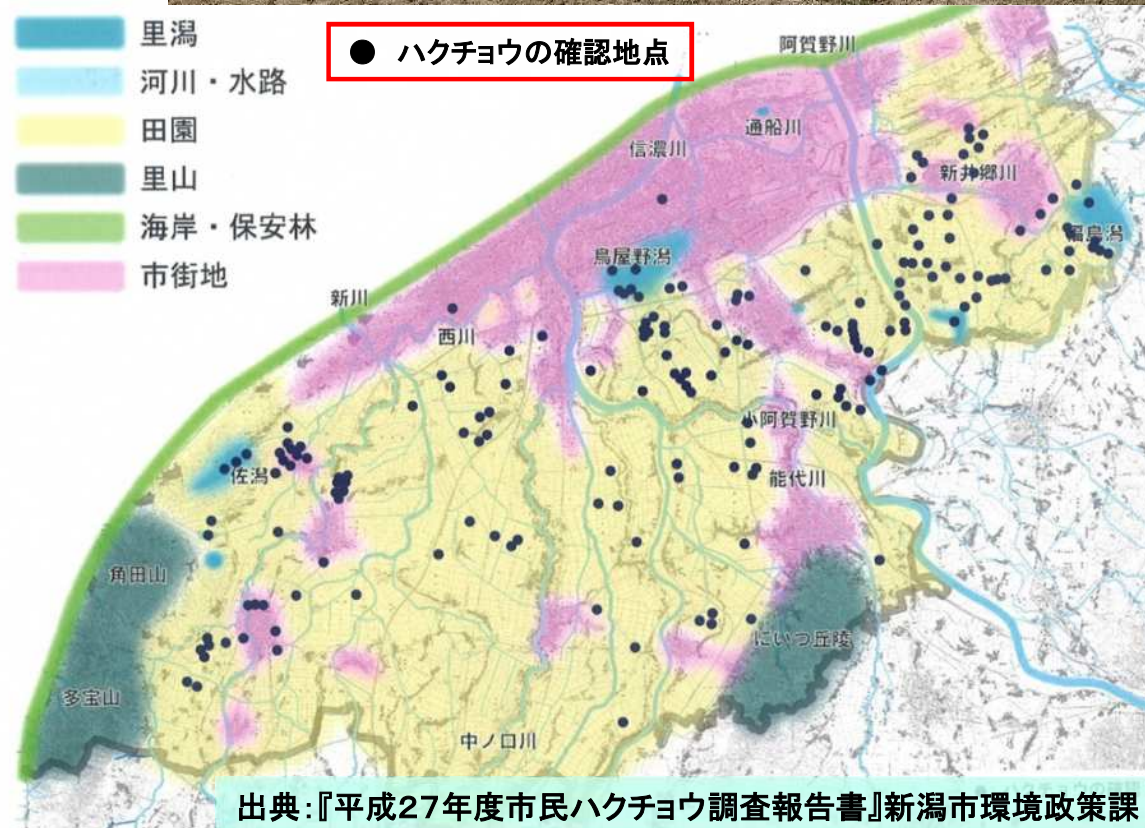
新潟市内の水田のいたるところで白鳥を見ることができる。まさに“湿地都市”といえる。



撮影:大熊孝 2022・1・29



撮影:佐藤安男







「鎧潟郷愁」 撮影:天野尚 2004年5月

**Thank you for listening and watching**